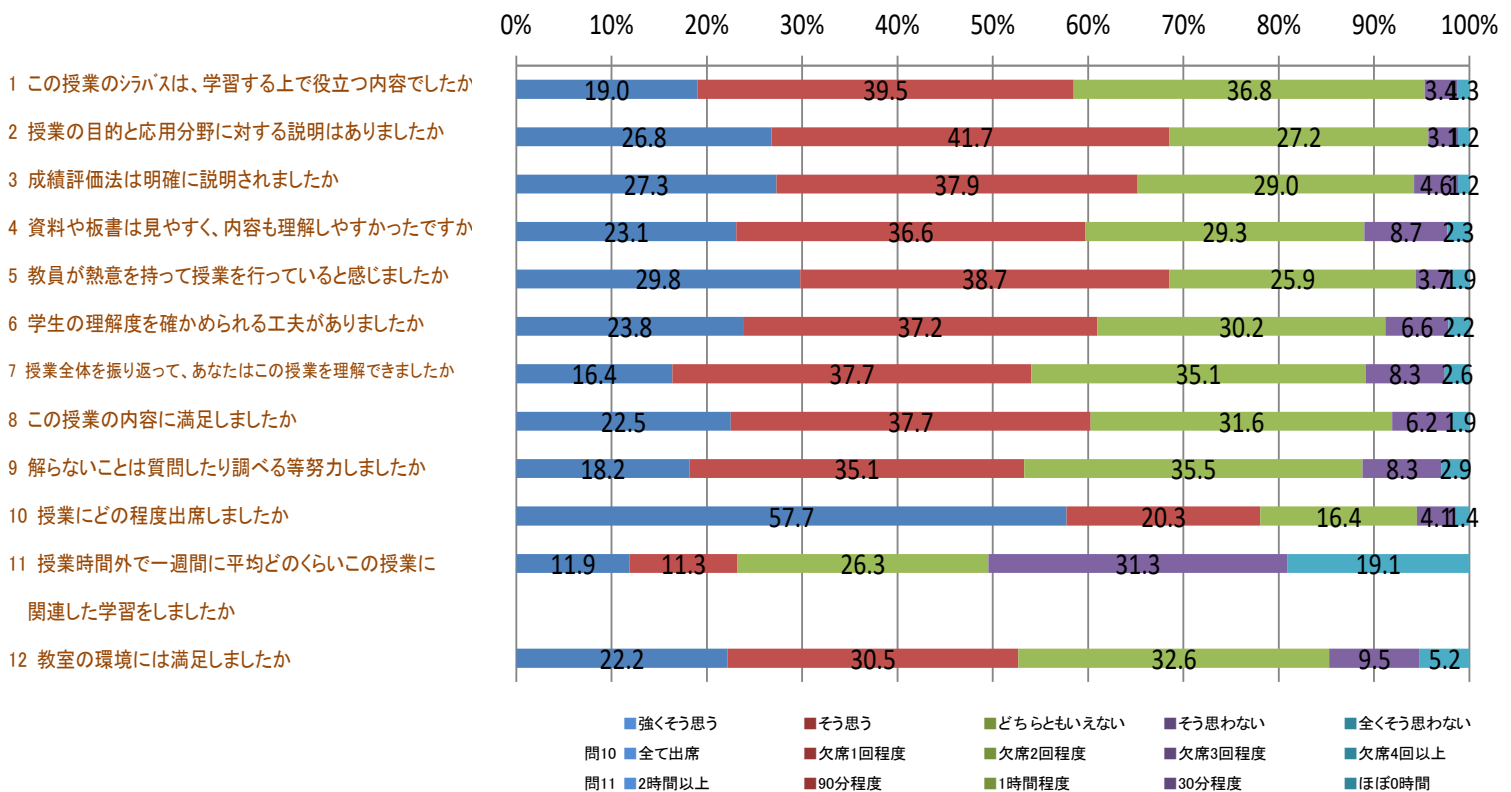


2017 年度前期 授業改善アンケート結果について

システムデザイン学部・研究科FDニュース No. 15

《学生の皆さんへ》システムデザイン学部・研究科では2017年7月3日～8月11日の期間、学部と研究科で前期に開講された講義科目を対象に授業改善アンケートを実施しました。今回も多くの学生の皆さんに回答していただきました。ご協力大変ありがとうございました。アンケートの集計ができましたので、その集計結果の概略をお知らせします。詳しくはシステムデザイン学部 HP に掲載されています。そちらもご覧ください。

システムデザイン学部(対象授業科目数 83 のうち 64 科目からの回答)



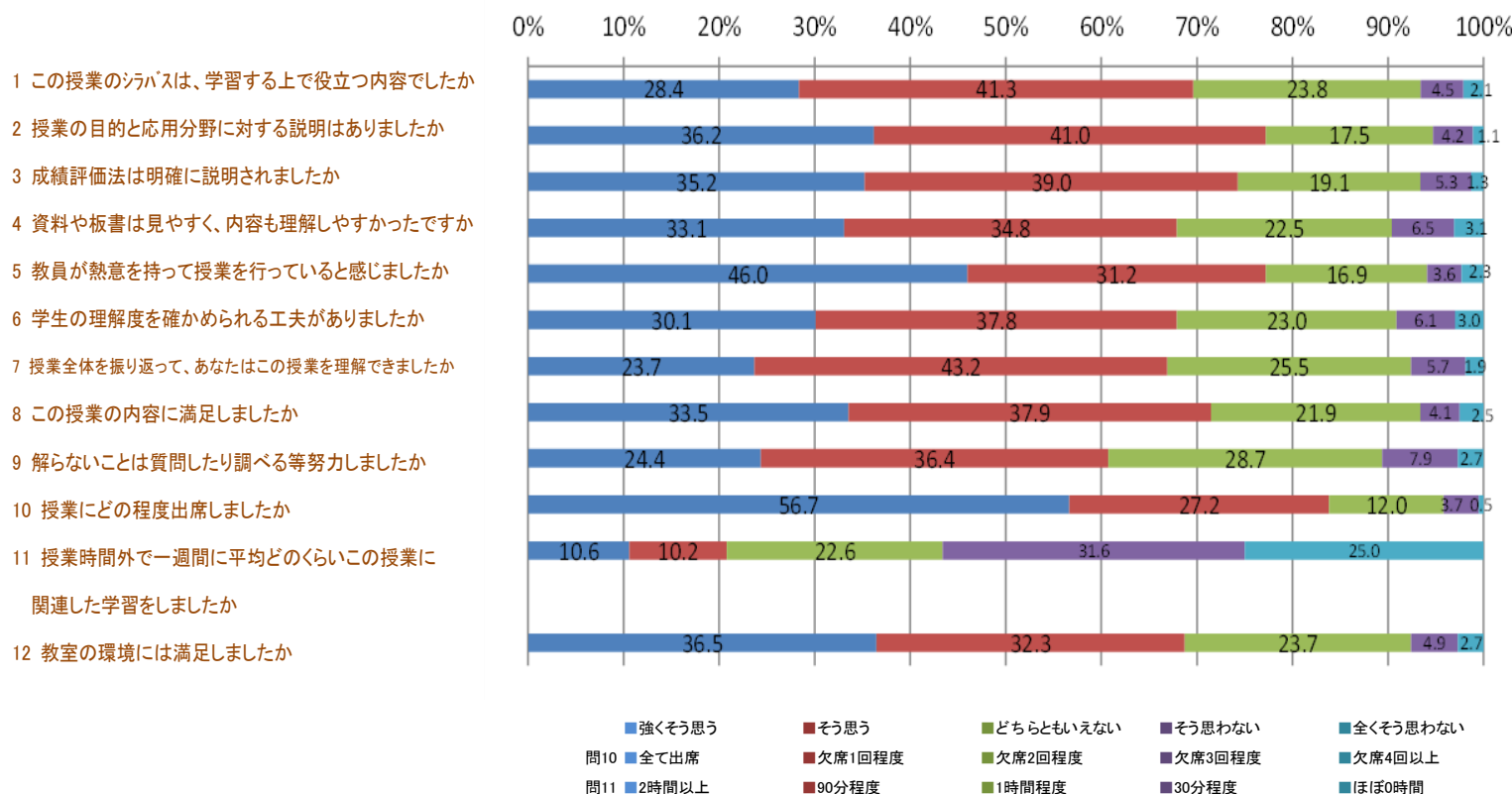
▶ 学生の皆さんから、こんな意見がありました

- ・グループワークが充実していて、積極的に学習できた。研究室の話をしてくれたので、とてもためになった。
- ・授業、試験ともに実践的な内容が含まれており、学習の目的がイメージがしやすかった。
- ・スライドの展開が早すぎてメモが間に合わない。

▶ 授業担当者からのコメント

- ・個人差が大きいので、学生ひとりひとりのレベルに合わせた指導を個別に適宜行う。
- ・他のコースから非常に熱心に聴講してくれる学生がいた。
- ・演習にしては人数過多。ゆきとどいた指導が難しい。

システムデザイン研究科 (対象授業科目数 44 のうち 36 科目からの回答)



▶ 学生の皆さんから、こんな意見がありました

- ・先生の説明が分かり易い。実務経験に基づく解説が、説得力があり、また面白い。
- ・学生主体でプロジェクトを立ち上げ、相談にものってくれた。
- ・もっと説明を聞きたかったので、スライドを配ってほしかった。ノート推奨と言われるが取っている暇がない。

▶ 授業担当者からのコメント

- ・毎回学生の発表を順次行い、質問をするように促す。毎回授業のメモを作成して提出させる。最終レポートにその内容を活かす。
- ・学生は比較的授業には出席するが、質問や議論はほとんどないため、これらを高める工夫を行って見たいと思う。
- ・授業への出席者が大変多い(毎回 80~100 名)ため、個人の進度やニーズに合った指導が行いにくく、一方的な講義になり易い傾向がある。

システムデザイン学部・研究科 FD 部会から

2017 年度前期「授業アンケート」へのご協力ありがとうございました。各設問の集計結果からは授業全体の傾向が、自由記述欄のコメントからは学生それぞれの受け取り方が浮かび上がってきます。寄せられたアンケートは回答者個人を特定することなく集計された後、コメントは無記名で教員にフィードバックされ、今後の授業をより良いものにしていくために活用されます。大学では近年アクティブ・ラーニングの導入などの結果、一方向でなく双方向的な授業が増えています。多様な声にも耳を傾けながら、今後も教職員一同いっそう FD 活動に取り組んでいきます。

FD(ファカルティ ディベロップメント)とは

起源は米国にあり、日本では「教員が授業内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取組の総称」とされています。

首都大学東京
システムデザイン学部・研究科 FD 部会
2017 年 12 月 日